

コスモス ニュースレター EMC & 安全

Cosmos Newsletter on EMC & Safety

発行日 2020-01-01

No. 116



株式会社 コスモス・コーポレーション Cosmos Corporation

〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地-1

<http://www.safetyweb.co.jp/>

記事の配列は、概ね、国際規格を最初におき、米、欧、オセアニア、アジアの順です。

コスモス ニュースレター EMC &安全

目次

エグゼクティブサマリー Executive Summary.....	2
ISO: 規格解説: ISO 11452-2 3rd ed. 2019 01 路上走行車両コンポーネント試験: 電波暗室(1/2).....	3
IEC: 新規格リスト	6
ISO: 新規格リスト	9
UNECE: UN 規制 No. 10 - Rev.6 - 電磁両立性 2019/11/20 付 発行	10
UNECE: 車両規制の整合化のための世界フォーラム: 第 179 回セッション報告書(1/4).....	11
国際テーマ: IEC, EU: ハザードベース AV/IT 規格の今後	12
国際テーマ: ユーラシア RoHS の適合のための独自のサービス	13
国際テーマ: 中国 CCC 規制の重要な変更: 18 種の製品が製品強制認証の対象から外れる	13
国際テーマ: UAE の市場参入要求事項に関する最新情報: AV/IT 機器の適用安全規格	14
国際テーマ: コスモス・ニュースから各国認証関連情報を再掲	15
USA: FCC: 現在の RF 曝露安全基準を維持すると決定: 2019/12/4 日 — 報告及び命令	15
USA: FCC: 5.9 GHz 帯での新たな展開: WiFi 及び車両の安全関連通信サービス CV2X に利用	17
USA: FCC: 960~1164 MHz 帯、並びに 5030~5091 MHz 帯における無人航空機の運用	18
USA: FCC: 業務用無人航空機(UAV)へのレーダーの使用: Leica 社から規則適用免除の要請	18
USA: DOE: 省エネルギープログラム: 外部電源試験手順の改訂を提案	19
USA: EPA: 電気自動車充電設備のエネルギースター適合基準のバージョン 1.1 が改訂中	19
USA: DOE: 省エネプログラム: 最近の連邦官報による通知	20
USA: ANSI/UL: 新規格リスト	20
USA: IEEE: 新規格リスト	21
カナダ: 官報通知 SMSE-009-19 — RSS-210 第 10 版 免許免除無線装置: カテゴリ I 機器	21
EU, UK: ブレグジット Brexit 取引が原則において EU と合意された: その後の道筋	23
EU: EMC 指令: 官報で公表された整合規格のサマリーリストが利用可能: 2019/10/29 付	23
EU: 玩具安全指令: 最新の技術的および科学的発展に適合させるための最近の修正	24
EU: 機械指令整合規格の修正並びに訂正: 撤回規格のリストが変更	24
EU: 規制 (EU) 2019/2144 発行: モーター車両とそのコンポーネントの安全性等型式承認要件	25
EU: 委員会規制 (EU) 2019/1939 発行: AES、車両 OBD 情報、および PEMS の使用関連	26
EU: 欧州委員会規制 (EU) 2019/1892 発行: 車両用空気力学デバイスに対する型式承認要件	26
EU: 各種機器に対する ErP(エコデザイン要求)、及びエネルギーラベリング規制発行	27
EU: CENELEC: 新規格リスト	28
EU: ETSI: 新規格リスト	30
オーストラリア: ACMA: EMC 規格リストでの変更: AS/NZS CISPR 11 が削除	31
中国: SRRC: SRD 微弱短距離無線送信機器の目録および技術要件公告: 2019 年第 52 号	32
中国: SRRC: 高機能機器通信 eMTC システムの周波数利用に関する管理規則 (暫定)	33
中国: CQC: 車載電子機器の電磁適合性規格の改訂に関する通知	33
中国: CQC: 風力発電ユニットの型式認証要求の変更に関する通知	34
中国: 新規格リスト	34
台湾: スイッチング電源など 11 項目の検査対象商品の関連検査規定の改正通知	36
台湾: 新規格リスト	36
韓国: RRA: 電磁両立性試験方法の改正 (案) の意見収斂実施: 電気鉄道機器、照明機器	38
韓国: KATS: 電気自動車の充電器の技術基準の改正案行政予告: 基準電圧範囲の変更等	38
韓国: KATS: 電気用品と生活用品安全管理運用要領の一部改正案行政予告	39
マレーシア: 電気機器の認可に関するガイドライン第 6 版[2018 年] (4/9)	40
総務省: 電波監理審議会(第 1070 回): 60 GHz 帯無線設備の高度化に向けた制度整備	41
経済産業省: 技術進歩を踏まえて電気用品の遠隔操作に関する報告書等を見直し	41
経済産業省: 製造・輸入事業者向けガイド Ver4.0 (英訳) を掲載	42
経済産業省: 日本産業規格(JIS)を制定・改正しました (2019 年 12 月分)	42
経済産業省: コスモス・コーポレーション: 電動応用機械器具の適合性検査が可能に	43
国土交通省: UNECE: IWVTA: 世界初、国際的な車両認証制度に基づく認定証を発行	43
国土交通省: UNECE: IWVTA: 乗用車等の衝突被害軽減制御装置 協定規則第 152 号	44
コスモス・コーポレーション: 自動車部品の耐久試験についてのご案内	22
ちよっといっつく〜小クイズコーナー 国際規格における禁止の表現	15
社長の独り言	45



ISO: 規格解説: ISO 11452-2 3rd ed. 2019 01 路上走行車両コンポーネント試験: 電波暗室(1/2)

- ISO 11452-2 3rd ed. 路上走行車両コンポーネント試験方法: ALSE (電波暗室) が、2019 01 発行された。
- 本規格は、車両の推進システムが何であるかに関らず適用できるものであって、乗用車及び商用車両者に用いる電子コンポーネントのイミュニティ（車両外放射源からの）を試験するための吸収材配列シールド室(ALSE 電波暗室)試験方法について規定する。配線用ハーネスと共に、供試装置（DUT）には、吸収材配列シールド室内で生成した電磁妨害が加えられる。
- 旧附属書 C を更新、新しい機能性能状態分類（FPSC functional performance status classification）形式に一致するようにした。附属書 A が削除されたため旧附属書 B、C は、附属書 A、B に繰り上がった。

UNECE: UN 規制 No. 10 - Rev.6 - 電磁両立性 2019/11/20 付 発行

- UN 規制 No. 10 - Rev.6 - 電磁両立性 発効日：2019 年 10 月 15 日が、2019/11/20 付で発行された。
- CISPR 12 規格の狭帯域限度値と一致させる、「定義、疑似回路網の種類と記述、充電モード車両の説明と関連する図面」に関して最終の CISPR 12 と一致させる等の、変更が加えられた。

USA: FCC: 現在の RF 曝露安全基準を維持する: 2019 年 12 月 4 日 — 報告及び命令

- FCC が既存の RF 放射曝露の限度値を改訂すべきかどうかについては既存の限度値の改訂を提案する適切な根拠がないため、改訂の提案を拒否する。
- 既存の限度値に基づき、最新の技術と現在の使用状況を反映するようための、実施規則を改定する。
- 高周波数（ギガヘルツ（GHz）周波数）で運用するポータブルデバイスに対するの局所的な RF 曝露の追加限度値及びと関連する遵守手段を公式化することを提案する。

EU: EMC 指令: 官報で公表された整合規格のサマリーリストが利用可能: 2019/10/29 付

- 本リストは、新しく整合規格を公表するものではないが、従来「新しく公表されたり」、「撤回日が公表された」規格を、まとめて掲載している。

EU: 玩具安全指令: 最新の技術的および科学的発展に適合させるための最近の修正

- 玩具内の化学物質の安全要件を、最新の技術的および科学的発展に適合させるために、委員会は指令の特定の部分を修正することができる。その権限により 以下の修正が行われた。

中国: SRRC: SRD 微弱短距離無線送信機器の目録および技術要件公告: 2019 年第 52 号

- 中国で販売および使用され、「微弱短距離無線送信機器の目録および技術要件」にリストアップされ、それを満たす無線送信機器を製造または輸入することは、無線周波数ライセンス、無線局ライセンス、無線送信機器の型式承認を取得することを要しない。

経済産業省: 技術進歩を踏まえた電気用品の遠隔操作に関する報告書等を見直し

社長の独り言

令和二年一月一日
濱口 慶一

新年あけましておめでとうございます。

読者の皆様にとって本年が良い年となることを祈念しています。今年はこれを実現したいという強い思い、大きな夢を持って業務に臨んでおられることと思います。

皆様の多くは企業に属し、経営者の意向を実現するための戦略を立てて今年の目標にチャレンジしていくと思います。私は一経営者として、社員には会社から提示された成果目標に対し、困難だからという理由でチャレンジをあきらめないでほしいと考えています。何らかの理由で達成できなかった場合、後日その目標を達成する仲間が出現したら、その仲間よりもレベルが低いということになってしまいます。仮に達成できなかった場合は、猛省して新たな目標に大胆にチャレンジする姿勢と、最初にとにかく理由を探さなくても良い程度の力を平素からつけていく努力が何よりも必要と考えます。

若い頃に得たいろいろな知識は年を重ねるうちに系統的に整理され、脳裏の中で一つにまとまる瞬間があります。閃きというものでしょうか？その閃きを出すためにも、若い時に雑学でも良いので脳裏に焼きつけるほどに多くの知識を詰め込んでいただきたいと思います。そして時期が来たと思ったら、どのように考え、行動すれば目標を実現できるかを 24 時間考えてください。そうすると自然に、突然閃きが脳裏に走ります。それを忘れないようにノートに書き残しておいてください。できればシステムノートに書き留めて、時間に余裕が出たらジャンル別に学んだ知識などをファイル化、データベース化してください。一定の年齢になると莫大な自分の有益なデータベースを確実に構築することができます。PC 内でも紙媒体でも構いません。

弊社に指導してくださっている方に、「先生は沢山書物を書かれています、どのようにして原稿をお書きになっているのですか」と最近質問をしました。先生は、世の中に PC が業務で利用されるようになったので、思いつきの散文などを日頃から PC の中に沢山残してあり、それを寄せ集めて書物にするのだと教えていただきました。

読者の皆さんには、企業の開発、設計者、または法務関係の方が多いと思います。いつかは定年を迎え、企業を卒業されるときが来ると思います。せっかく多くの個人的な時間を割いて脳裏に焼き付けた知識や経験をどうか、この日本に生きた技術者のノウハウとして後輩たちに残してあげて欲しいのです。読者の皆様それぞれの存在を永遠の形にして残していただけたらと思います。私も 40 年余り製品安全業界にいらせてもらったお礼として技術解説書の発行を夢見ており、できるだけ早く実現できるように頑張ります。良いテーマや原稿がありましたら、弊社の CS 部責任者にお電話下さい。技術書として日本に残していきませんか？私の願いをお伝えして、今年最初の独り言とさせていただきます。

● ニュースレターの内容

本誌は、**EMC、安全、及び省エネ (EMC, Safety and Energy Conservation)** 分野に係り、世界の主要機関/地域により実施されかつ電気電子製品デバイスに適合が求められている規格/法規制について、その関連情報を、お届けいたします。

重要情報を幅広く調査、収集、かつ、要約して掲載し、当該分野の最新情報、潮流をすばやく捉えることができるようにいたします。情報源を明示しますので、貴殿の関心により、更に深い調査が可能です。

本誌は各国への技術法規適合製品を試験 認証 開発 管理される部門の方にとり必読の内容です。

- 対象機関/地域: IEC 等国际機関、並びに、FCC, UL を含む米国、EU, CENELEC, CEN を含む欧州、その他オセアニア、及び日本を含むアジアの各地域

- 情報源: カバー対象の機関、地域の Web site、或は情報サービス。又、ご協力のご同意を頂いた日本国内及び米国・欧州・中国・韓国・台湾などの当該分野権威者から提供された情報。

● 本誌購読のお申し込み方法

コスモス・コーポレイション CS 部 (カスタマーサービス部) まで sales@cosmos-corp.com
Tel 0598-30-5225 Fax 0598-30-5571

- 発行 : 年間 11 回発行。各号 A4 版、40 ページ前後。

- 価格 : 各号 2,000 円 (年間購読の場合 1 年 11,000 円)(消費税込)

● 本誌の内容案内、ご購入案内は、<http://www.safetyweb.co.jp/services/other/publication/>

本誌の記事が正確であるよう最大の努力を払っておりますが、間違いが含まれていることがあるかもしれません。本情報をご使用になられる場合はご自身でもう一度ご確認ください。

株式会社コスモス・コーポレイションは、下記 Web site の運営体からそれぞれ個別の条件の下、Web 情報の引用、転載につき許可を頂いております。翻訳転載された記事の著作権は原著作権者に属します。本誌掲載記事の無断転載を禁じます。本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。

国際機関	IEC: International Electro technical Commission	国際電気標準会議
米州	A2LA: American Association for Laboratory Accreditation	米国試験所認定協会
	ANSI: American National Standards Institute	米国規格協会
	FCC: Federal Communications Commission	連邦通信委員会
	IEEE: Institute of Electric and Electronics Engineers	米国電気電子学会
	CSA: Canadian Standards Association	カナダ規格協会
欧州	CENELEC: European Committee for Electro technical Standardization	欧州電気技術標準化委員会
	ECO : European Communications Office	欧州通信オフィス
	ETSI: European Telecommunications Standards Institute	欧州電気通信標準協会
	EU/EC: European Union/European Commission	欧州連合/欧州委員会
オセアニア	ACMA: Australian Communications and Media Authority	オーストラリア通信/メディア局
	NZ: New Zealand Government Radio Spectrum Management	ニュージーランド政府 RSM
アジア	BSMI: Bureau of Standards, Metrology & Inspection	台湾經濟部標準檢驗局
	CNS: Chinese National Standards Online Service	台湾中国国家規格検索システム
日本	METI: Ministry of Economy, Trade and Industry	経済産業省
	MIC: Ministry of Internal Affairs and Communications	総務省
	NPB: National Printing Bureau	独立行政法人国立印刷局
	VCCI: Voluntary Control Council for Interference	一般財団法人 VCCI 協会

Cosmos Corporation is granted the copyright authorization for the reproduction of the Web site information from the above listed organizations with the individual condition. Further use, modification, redistribution of the information on the Cosmos Newsletter on EMC & Safety is strictly prohibited.

コスモス ニュースレター **EMC &安全 (Cosmos Newsletter on EMC & Safety) 2020-01-01 (No. 116)**

発行所 : 株式会社コスモス・コーポレイション 本社・松阪事業所

住所: 〒515-1104 三重県松阪市桂瀬町 718 番地 1 ホームページ: <http://www.safetyweb.co.jp/>

発行人 : 濱口慶一

編集人 : 倉品光雄 iNARTE 認定 Certified EMC Engineer (EMC-002315-NE)

© 2020 株式会社コスモス・コーポレイション Cosmos Corporation

本誌の複製、再配布は電子的なものを含み禁じます。